

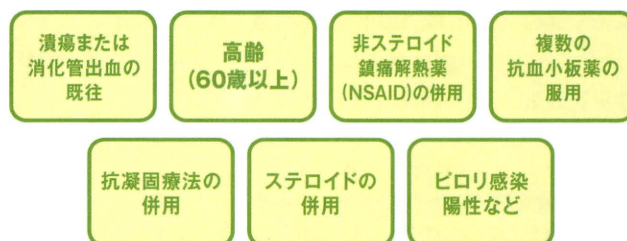
## 低用量アスピリンによる潰瘍と合併症の予防

2009年、日本消化器病学会の編集により「消化性潰瘍診療ガイドライン」が発行されましたが、このガイドラインでは「低用量アスピリン」による潰瘍とその合併症について、病態、予防、治療に関する診療指針が提唱されています。表2にそのステートメントを抜粋して示しますが、特に低用量アスピリンによる潰瘍とその合併症(出血)の予防についてご紹介します。

### 1. リスク因子について

低用量アスピリンが消化性潰瘍や出血のリスクを高めることは明らかですが、アスピリンを内服するすべての患者さんに潰瘍や出血の予防のお薬を内服してもらうことは実際的ではありません。潰瘍や出血を引き起こす危険性の高い、ハイリスクの患者さんを対象にした予防が医療経済的にも合理的です。その際、患者さんの背景として、リスク因子(表1)として挙げられている潰瘍の既往歴、年齢、他の抗血小板薬や抗凝固薬などとの併用、ピロリ菌感染などの有無を検討し、低用量アスピリンの内服による潰瘍と出血のリスクを正確に評価する必要があります。

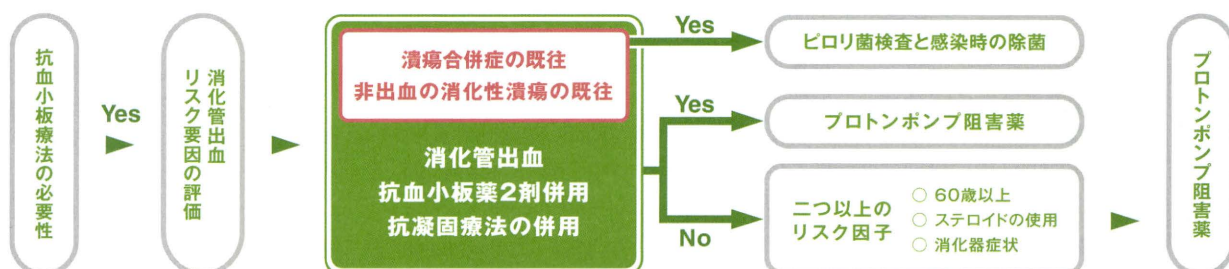
表1 低用量アスピリン内服による潰瘍と合併症のリスク因子



### 2. 予防対策

以上のことから、アメリカの学会では、図3に示すようなアスピリンを用いた抗血小板療法による出血、潰瘍の予防方策を提案しています。上記のリスク因子を評価して、特に潰瘍やその合併症の既往があるハイリスクの患者さんには、ピロリ菌が陽性であれば除菌をします。さらに、除菌に加えて胃酸の分泌を抑制するお薬を内服することが推奨されています。そのほかのリスク因子が複数存在する場合にも、リスク軽減のために酸分泌抑制薬をアスピリンに併用することが勧められます。日本でも低用量アスピリンによる潰瘍の実態調査、予防薬などの研究が進んでおり、2010年7月から胃潰瘍または十二指腸潰瘍の既往歴のあるハイリスクの患者さんには、潰瘍の再発抑制のためにプロトンポンプ阻害薬を投与することが保険診療で認可されています。

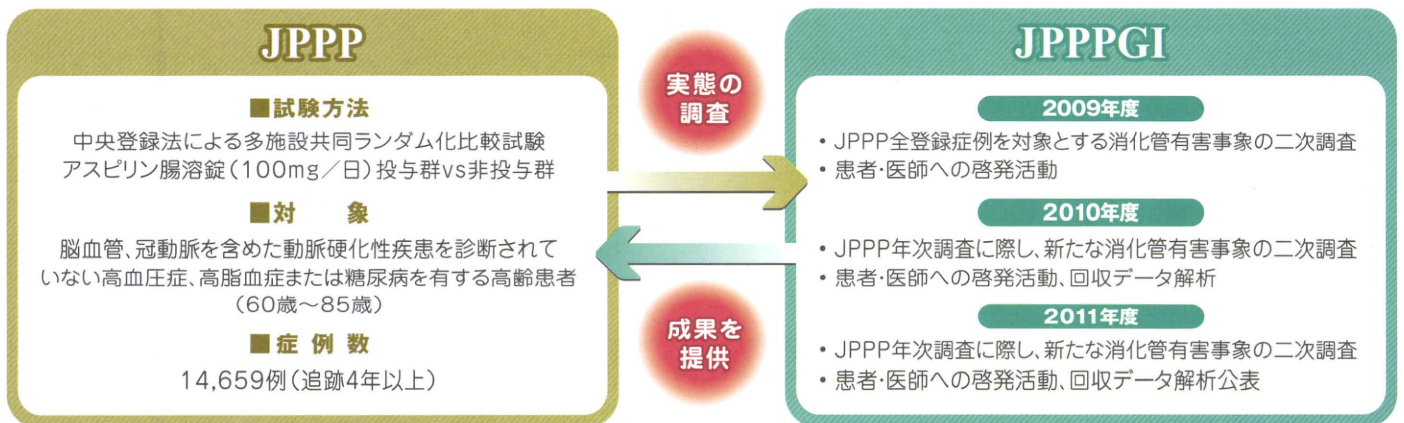
図3 抗血小板療法による消化管出血の予防



## JPPPGI 概要

2005年から開始されている脳血管、冠動脈を含めたアテローム性動脈硬化症を診断されていない高血圧症、高脂血症または糖尿病を有する高齢患者を対象に、アスピリンによる一次予防効果を検証する大規模臨床研究(JPPP)をもとに、2008年10月にACCF/ACG/AHAにより出された非ステロイド系消炎鎮痛剤の消化管障害に関する提言を受けて、日本人の低用量アスピリンによる消化管障害の詳細な実態調査を行い、一次予防における低用量アスピリン投与のリスク・ベネフィットを検討する。

## JPPPGI 研究計画



## JPPPGI 研究の意義と期待される効果

安全・安心への新しい一歩

**血栓症一次予防に対するアスピリンの有用性(リスク・ベネフィット)の評価  
重要な情報の提供**

現在多くの高齢者が血栓症二次予防のために、低用量アスピリンを服用しているが、日本人の低用量アスピリンの消化管障害の実態は必ずしも明らかではない。本研究ではアスピリンのリスク面について詳細な評価ができ、血栓症一次予防に対するアスピリンの有用性(リスク・ベネフィット)を明らかにするのみならず、再発予防目的でアスピリンを投与されている患者にとっても有益な情報を提供することができる。

**重篤な疾患の予防  
医療費・介護費の削減**

消化管出血などを含む出血性合併症の正確な把握を行い、アスピリンの一次予防の有用性が確認されれば、1錠約6円と安価である薬剤により、毎年5~10万人の脳梗塞・心筋梗塞という死亡原因・要介護原因の上位を占める重篤な疾患を予防できることになり、高齢化社会を迎えた我が国の医療費・介護費の削減に大きく貢献できる。

**健康余命の延長  
家族や患者の生活の質の向上**

健康余命の延長により患者にとっても豊かな老後を健康に過ごすことができ、家族や患者の生活の質の向上にも繋がる。

平成 23 年 1 月 吉日

JPPPGI 試験参画施設  
担当医師、関係者 各位

平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
—消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)  
市民公開講座の御案内

拝啓 新春の候 ますますご清祥のほど、お慶び申し上げます。  
平素は、JPPPGI 試験にご協力頂きまして心より感謝致します。

さてこの度、JPPPGI 研究班主催による市民公開講座を次の通り、開催することとなりましたので、ここに御案内致します。

日 時：平成 23 年 2 月 26 日（土）午後 1 時～  
場 所：東京大学医学部附属病院内 入院棟 A 15 階 大会議室  
テーマ：「脳卒中・心筋梗塞の予防をめざして ～抗血栓療法と消化器障害～」

本講座を JPPPGI に御協力下さっている患者さんを始め、皆様の健康のためにお役立ていただければ幸いです。

末筆ながら本年も先生のご健康と益々のご活躍をお祈りすると共に、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

研究代表者 池田 康夫  
早稲田大学理工学術院生命医科学科教授  
慶應義塾大学名誉教授

<送付物>

- ・ 市民公開講座ポスター
- ・ 同 リーフレット（裏面・参加申込書）

本件に関するお問い合わせ先

**JPPPGI 市民公開講座事務局**

〒102-0084 東京都千代田区二番町 1-2-422 エリアワークス(株)内  
TEL & FAX: 03-6380-8306 E-mail: i-jpppgi@areaworks.jp

市民公開講座

本講座は平成22年度厚生労働科学研究費 臨床研究推進研究事業の助成により開催されます。

# 脳卒中・心筋梗塞の予防をめざして

参加費  
無料

～抗血栓療法と消化器障害～

日時 2011年  
2月26日(土) 13:00～15:00 (受付  
12:30～)

会場 東京大学医学部附属病院  
入院棟A 15階 大会議室

定員 100名 申込締切日: 2月17日(木)

プログラム

プログラムは変更になることがありますのでご了承ください。

13:00～13:10 開会挨拶

・池田康夫 (「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究-消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班主任研究者/早稲田大学理工学術院生命医科学科教授/慶應義塾大学名誉教授)

13:10～13:40 講演①「抗血栓療法の消化管傷害のリスク」

・溝上裕士 (筑波大学病院光学医療診療部准教授)

13:40～14:10 講演②「心血管イベント抑制に対するアスピリンのベネフィット」

・山崎 力 (東京大学大学院医学研究科臨床疫学システム講座教授)

14:10～14:50 パネルディスカッション

・司会/平石秀幸 (獨協医科大学消化器内科主任教授)

14:50～15:00 閉会挨拶

・上村直実 (国立国際医療研究センター国府台病院長)

東京大学医学部附属病院

東京スカイツリー

主催

平成22年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
—消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班

後援

日本臨床内科医会

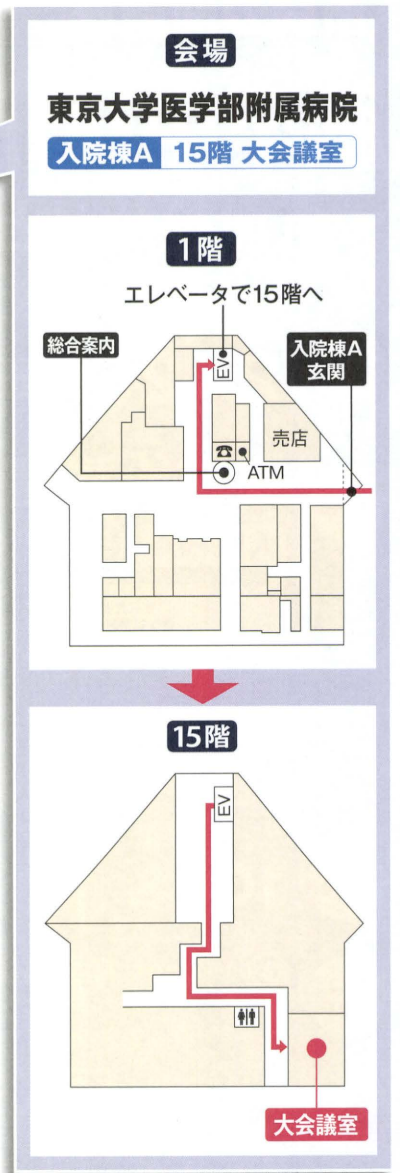
お問合せ先

JPPPGI市民公開講座事務局

TEL・FAX 03-6380-8306

E-mail i-jpppgi@areaworks.jp

〒102-0084 東京都千代田区二番町1-2-422 エリアワークス(株)内



**電車をご利用の場合**

- 【東京メトロ丸の内線 本郷三丁目駅(2番出口)】  
徒歩:約10分
- 【都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅(5番出口)】  
徒歩:約10分
- 【東京メトロ千代田線 根津駅(2番出口)、湯島駅(1番出口)】  
徒歩:約15分

**バスをご利用の場合**

- 【上野駅からのアクセス】  
のりば:4 系統番号:学01 行き先:東大構内
- 【御徒町駅からのアクセス】  
のりば:4 系統番号:学01 行き先:東大構内
- 【御茶ノ水駅からのアクセス】  
のりば:5 系統番号:学07 行き先:東大構内

**お申込み方法**

申込締切日: 2/17(木)

FAXまたはEメールで  
お申込みください。



**03-6380-8306**

下記申込書に必要事項をご記入の上、ご送信ください。



**i-jppggi@areaworks.jp**

下記申込書に記載の必要事項を全てメールに記載の上、ご送信ください。

**脳卒中・心筋梗塞予防市民公開講座申込書** ▼必要事項をみれなくご記入ください。 ※四名以上のお申込みの場合は、コピーしてお使いください。

代表者	フリガナ	年齢	TEL	フリガナ
	氏名			
お連れ様	フリガナ	フリガナ		
	氏名	氏名		

※申込み多数の場合には、抽選とさせていただきます。抽選の結果は申込みされた方全員へ発送し、当選された方には参加票を発送いたします。(概ね、開催日の5日前までに発送いたします)  
 ※当日は、参加票をご持参ください。  
 ※お申込みいただきました個人情報は、本講座に関連する業務のみに使用するもので、本目的以外での使用や第三者への開示は一切行いません。  
 開催終了後、情報流出防止処置をしたうえで速やかに廃棄いたします。

# 脳卒中・心筋梗塞の予防をめざして

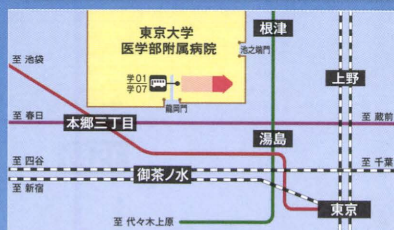
参加費  
無料

## ～抗血栓療法と消化器障害～

日時 2011年 2月26日(土) 13:00～15:00 (受付 12:30～)

会場 東京大学医学部附属病院

入院棟A 15階 大会議室



**電車をご利用の場合**

- 【東京駅丸の内線 本郷三丁目駅(2番出口)】 徒歩:約10分
- 【都営地下鉄 大江戸線 本郷三丁目駅(5番出口)】 徒歩:約10分
- 【東京駅千代田線 根津駅(2番出口)、湯島駅(播出口)】 徒歩:約15分

**バスをご利用の場合**

- 【上野駅・御徒町からのアクセス】 のりば:4 系統番号:学01 行き先:東大構内
- 【御茶ノ水駅からのアクセス】 のりば:5 系統番号:学07 行き先:東大構内



定員 100名 申込締切日:2月17日(木)

- プログラム**
- プログラムは変更になることがありますのでご了承ください。
- 13:00～13:10 **開会挨拶**  
・池田康夫 (「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究—消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班主任研究者/早稲田大学理工学術院生命医科学科教授/慶應義塾大学名誉教授)
  - 13:10～13:40 **講演①「抗血栓療法の消化管傷害のリスク」**  
・溝上裕士 (筑波大学病院光学医療診療部准教授)
  - 13:40～14:10 **講演②「心血管イベント抑制に対するアスピリンのベネフィット」**  
・山崎 力 (東京大学大学院医学研究科臨床疫学システム講座教授)
  - 14:10～14:50 **パネルディスカッション**  
・司会/平石秀幸 (獨協医科大学消化器内科主任教授)
  - 14:50～15:00 **閉会挨拶**  
・上村直実 (国立国際医療研究センター国府台病院長)



東京大学医学部附属病院

東京スカイツリー



平成22年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業

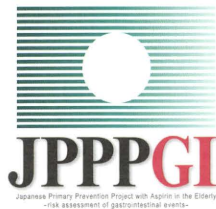
主催 「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究—消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班

後援 日本臨床内科医会

市民公開講座

# 脳卒中・心筋梗塞の予防をめざして ～抗血栓療法と消化器障害～

※本講座は平成22年度厚生労働科学研究費 臨床研究推進研究事業の助成により開催されます。



## ■ プログラム ■

- 13:00-13:10 開会挨拶  
池田 康夫 (JPPPGI主任研究者 早稲田大学)
- 13:10-13:40 講演1 「抗血栓療法の消化管傷害のリスク」  
座長:上村 直実 (国立国際医療研究センター)  
演者:溝上 裕士 (筑波大学)
- 13:40-14:10 講演2 「心血管イベント抑制に対するアスピリンのベネフィット」  
座長:平石 秀幸 (獨協医科大学)  
演者:山崎 力 (東京大学)
- 14:10-14:20 休憩
- 14:20-14:40 パネルディスカッション  
コーディネーター:平石 秀幸  
パネリスト:溝上 裕士, 山崎 力, 上村 直実
- 14:40-14:50 質疑応答
- 14:50-15:00 閉会挨拶 上村 直実

2011年2月26日(土)13:00-15:00

東京大学医学部附属病院 入院棟A 15階大会議室

### 主 催

平成22年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
- 消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの(JPPPGI)」研究班

### 後 援

日本臨床内科医会

# 講師紹介



池田 康夫 (いけだやすお)

厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
- 消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」  
主任研究者  
早稲田大学理工学術院生命医科学科教授  
慶應義塾大学名誉教授

1969年慶應義塾大学医学部卒業。1973年米国ブラウン大学留学。1991年慶應義塾大学医学部内科学教授、1995年慶應義塾大学病院副院長、1999年慶應義塾大学医学部長補佐、2001年慶應義塾大学医学部総合医科学研究センター長、2005年慶應義塾大学医学部長を経て、2009年4月より現職。

早稲田大学と東京女子医科大学との連携施設「東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設」に設立された早稲田大学先端生命医科学センターにおいて、医理工融合の環境を整備する構想のもと、両大学の連携、共同により、難治性疾患の治癒をめざした新しい薬や医療機器の開発研究、そしてそのための人材育成に取り組んでいる。

日本血栓止血学会理事長、日本血液学会前理事長、国際止血血栓学会会長、国際内科学会理事、日本医学会幹事 ほか役職多数

専門分野: 血栓止血学(特に血小板)、血液腫瘍学



平成22年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
- 消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班



# 講師紹介



上村 直実 (うえむら なおみ)

国立国際医療研究センター国府台病院長

1979年広島大医学部卒業。1987年米国アラバマ大消化器科留学。1989年呉共済病院を経て、2002年国立国際医療センター内視鏡部長。2010年4月より現職。  
呉共済病院時代より、ピロリ菌の感染と胃癌との関連およびその予防に関する研究に従事し、「除菌による胃癌予防」に関する研究報告などで世界的な注目を浴びる。  
日本消化器病学会理事・指導医、日本消化器内視鏡学会社団評議員・指導医、日本ヘリコバクター学会理事。  
共著／著書：『臨床に直結する消化管疾患治療のエビデンス』（文光堂）など。



平石 秀幸 (ひらいし ひでゆき)

獨協医科大学消化器内科主任教授

1979年東京大学医学部医学科卒、1990年学位取得(医学博士)。1979年東京大学医学部附属病院内科、1981年東京警察病院内科、1983年東京大学医学部医員、1987年東京大学医学部・文部教官助手(第二内科)、1989年米国カリフォルニア大学アーヴァイン校留学、1992年獨協医科大学第2内科講師、1994年獨協医科大学第2内科助教授を経て、2004年より現職。  
日本内科学会認定医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、他。  
専門は消化器病学、アスピリン/NSAIDの消化管傷害、ピロリ菌感染症、炎症性腸疾患、臨床肝臓病学。



平成22年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
- 消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班

# 講師紹介



溝上 裕士 (みぞかみ ゆうじ)

筑波大学病院光学医療診療部准教授

1981年東京医科大学卒業、兵庫医科大学第4内科入局。国立加古川病院内科医長、東京医科大学霞ヶ浦病院(現:東京医大茨城医療センター)准教授、同内視鏡センター長、蒲郡市民病院副院長兼消化器科部長を経て、2010年7月より現職。  
主な役職は、日本消化器学会指導医、評議員、日本消化器内視鏡学会指導医、評議員、日本消化管学会胃腸科認定医、代議員など。  
専門は消化管疾患、消化器内視鏡診断、内視鏡治療。  
日本消化器病学会 消化性潰瘍診療ガイドライン作成委員を歴任。



山崎 力 (やまざき つとむ)

東京大学大学院医学系研究科  
臨床疫学システム講座特任教授  
東京大学医学部附属病院検診部部长

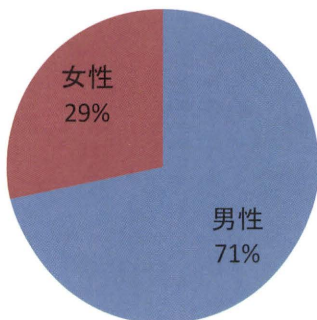
1985年東京大学医学部医学科卒業。虎の門病院循環器センター内科レジデント、東京大学医学部附属病院第三内科助手、東京大学保健管理センター講師、東京大学大学院医学系研究科薬剤疫学講座客員助教授、東京大学大学院医学系研究科クリニカルバイオインフォマティクス研究ユニット特任教授を経て、現職。  
日本循環器管理研究協議会理事。日本高血圧学会評議員。  
著書／共著:医学統計ライブスタイル(SCICUS,2009)など



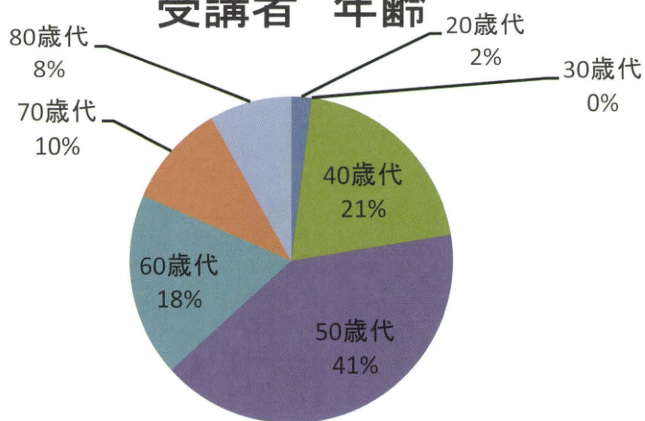
平成22年度厚生労働科学研究費補助金 臨床研究推進研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
- 消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討(JPPPGI)」研究班

Q1 ご自身について、お聞きます。

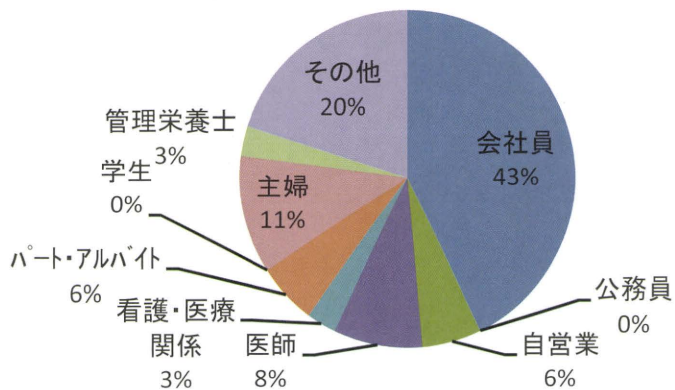
### 受講者 性別



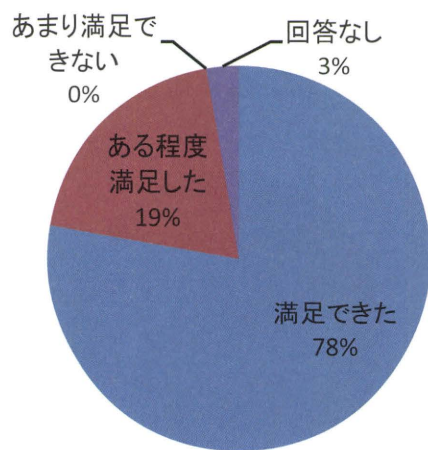
### 受講者 年齢



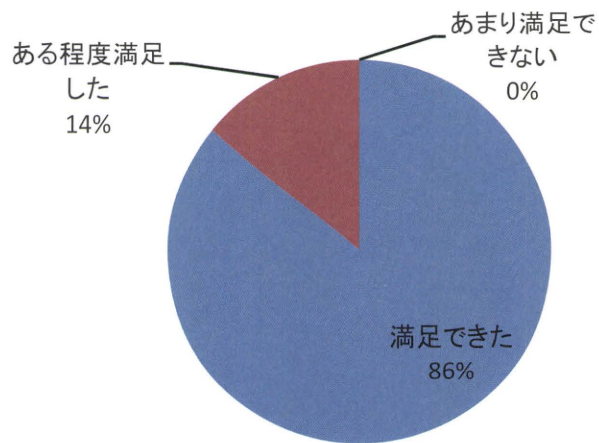
### 受講者 職業



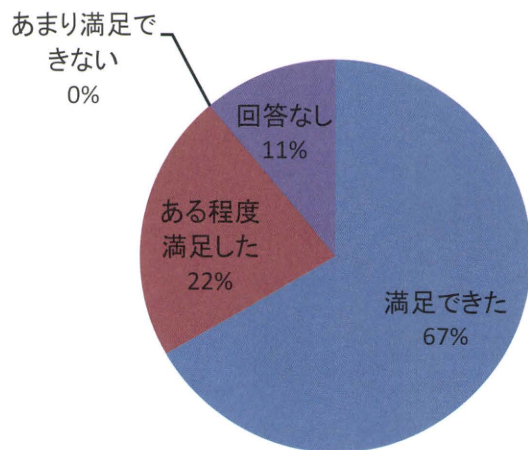
Q2 講演1「抗血栓療法の消化管傷害のリスク」の内容は、ご満足いただけましたか？



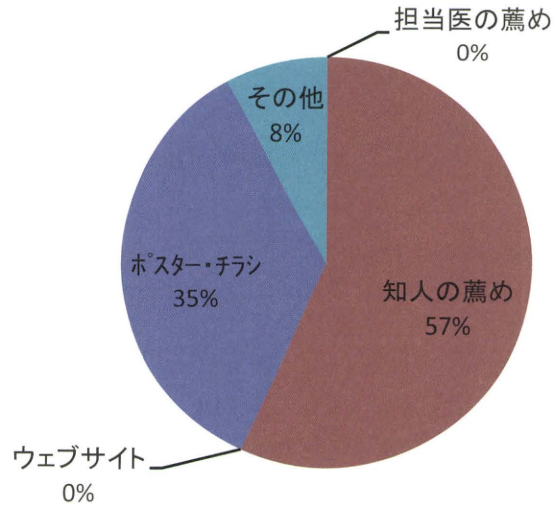
Q3 講演2「心血管イベント抑制に対するアスピリンのベネフィット」の内容は、ご満足いただけましたか？



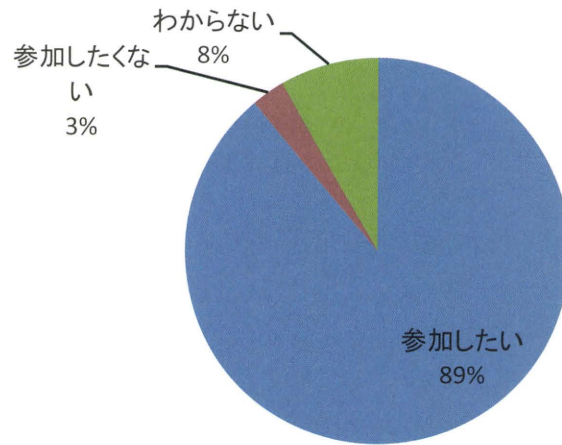
Q4 パネルディスカッションの内容は、ご満足いただけましたか？



Q5 今回の講演会を何で(どこで)知りましたか？(複数回答可)



Q6 またこのような講座があれば、参加したいですか？



Q7 その他、感想をお聞かせ下さい。

- ☒ 現在55歳。3～4ヶ月に1回慶應病院で血液検査をしていますが、(肝機能数値高いので20年間)薬をまったく飲まないようにして今迄生活してきた為、今回の抗血栓療法としてアスピリン飲用がどうなのかまだ自分としては明確になっておりません。但し、動脈硬化の兆候が顕著になった際には最優先で考えたい。今迄、癌検査、心筋梗塞等の分析チェックは受けており、今のところ問題箇所はないとの見解ですが。
- ☒ 個人的には市販の鎮静剤の服用についても消化管障害が発症するかが、もう少し詳細に聞きたかった。
- ☒ 積極的に医療機関からのリスクに関する情報開示があったのは大変評価できる。今後共、このような機会が多くもたれることを大いに期待したい。素晴らしい会であったと思います。
- ☒ アスピリンとバファリンを使用するのを使い分けているのが分かりました。ピロリ菌についてももう少し知りたい。
- ☒ 素人にも大変分かり易く、整理されたプレゼンでした。東大病院入院棟に来る機会も得られ、大変有意義でした。又、出てみたいので、Mailでご案内頂きたい。
- ☒ 医療に前向き(行政にも)な先生のお話で有益でした。
- ☒ 分かり易い言葉で説明頂き、よかったです。
- ☒ 市民公開講座というものは初めて参加しましたが、機会があればまた聴きたいと思いました。治療法・ガイドラインも進歩しているようですので「かかりつけ医」という地域医療の先生も良く勉強して頂きたいと思いました。
- ☒ とても分かり易く、よく理解できました。仕事に少し関係していますので役立てたいと思います。ありがとうございました。
- ☒ 参加して勉強になりました。有難うございました。
- ☒ 年齢的に今回の講座を聞き、永く生きればと何に注意すべきか参考になった。
- ☒ 良い会でした。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
- ☒ ポスターを薬局の隅に貼ってあって、偶々みつけた。折角の公開講座なので区報に載せて欲しい。区役所の掲示板にポスターを貼って欲しい。
- ☒ 弊害とベネフィットはケースバイケースにより違っている。その混乱をこのような講演によって少しでも改善して行くのは結構である。
- ☒ またこのような講座を開催してほしい。
- ☒ 「心血管」についての講演は内容が平易で大変わかりやすかった。また、わかり易い話は、自らの生活習慣の改善にも結びつくような気がしました。
- ☒ 講義内容を要約した資料があった方がいい。キーワードの簡単な説明など。
- ☒ とてもためになりました。
- ☒ 平易かつ目配りのきいた内容、構成で参考になりました。

- ☒ 分かり易い言葉でのお話しでした。リスク、ベネフィットは自己責任と、相談できる方を持ち進めていきたいと思えます。お世話様でございました。
- ☒ 良い機会をもたせていただき有難うございました。ぜひ又こういう市民講座を開催していただければと思えます。
- ☒ 旧来の知識や、マスコミで報じられている情報程度しか持ち合わせていないので、新しい知識を得ることができ、大変有益でした。
- ☒ 大学の先生の講義を想像してしていましたが、非常に分かり易い説明でした。パネルディスカッションになると難解な説明が増えてきました。医師の方、治療を受けている方でないといついでいけないようです。
- ☒ 東大に来てよかった。二度目、安田講堂での講演会にも参加したことあり。
  
- ☒ 参加して本当に良かったと思えます。テーマをある程度絞っていたので分かりやすく、また講師の方々も実直そうな人柄で、非常に素晴らしいセミナーでした。この手の講座は、普通は病気を患っている方や年配の方が多くなって、会場が比較的暗くなりがちですが、今日のセミナーは、若いスタッフの方々が沢山いて、全体として明るい雰囲気であったことが、非常に良かったと感じました、ありがとうございました。

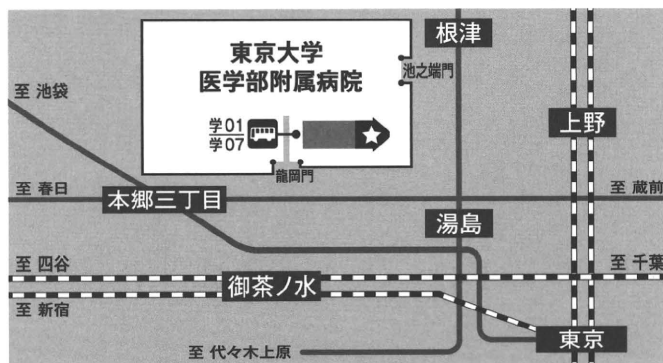
## 参加票

当日はこのハガキをご持参下さい。  
※本参加票をもって受付を行います。

### 市民公開講座 脳卒中・心筋梗塞の予防をめざして

日時 **2011年**  
**2月26日(土) 13:00~15:00** (受付時間 12:30~13:00)

会場 **東京大学医学部附属病院 入院棟A 15階 大会議室**



#### 電車を ご利用の場合

- 【東京メトロ丸の内線 本郷三丁目駅(2番出口)】徒歩:約10分
- 【都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅(5番出口)】徒歩:約10分
- 【東京メトロ千代田線 根津駅(2番出口)、湯島駅(1番出口)】徒歩:約15分

#### バスを ご利用の場合

- 【上野駅・御徒町からのアクセス】のりば:4 系統番号:学01 行き先:東大構内
- 【御茶ノ水駅からのアクセス】のりば:5 系統番号:学07 行き先:東大構内

#### お問合せ先 JPPPGI市民公開講座事務局

TEL **03-6380-8306** (開催前の平日の連絡先)

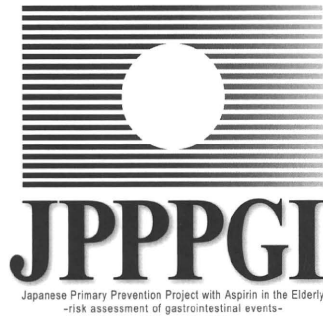
携帯 **080-5012-8188** (2/26のみ10時~)

本講座は平成22年度厚生労働科学研究費 臨床研究推進研究事業の助成により開催されます。



## Ⅱ. 添付資料

### 1. 平成21年度



平成 22 年 3 月 20 日

JPPP 試験参画施設  
担当医師 御机下

**JPPPGI 試験事務局**

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-4-1-402

エリアワークス株式会社内

Tel.0800-8008158 Fax.0800-8008235

E-mail:jpppgi@areaworks.jp

**<書類送付のご案内>**

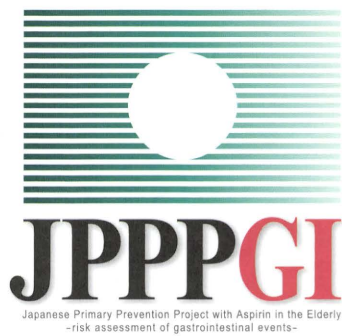
拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。下記書類をお送り致しますので、ご査収のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. JPPPGI 挨拶状
2. JPPPGI 図書カード (別便、書留郵送にて送付いたします)
3. JPPPGI リーフレット (別便、宅配便にて送付いたします)
4. JPPPGI ポスター (別便、宅配便にて送付いたします)

以上



平成 22 年 3 月 吉日

JPPP 試験参画医各位

主任研究者 池田 康夫

平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業  
「高齢者におけるアスピリンの一次予防効果に関する研究  
消化管障害に注目したリスク&ベネフィットの検討」研究班

## JPPPGI ご協力をお願い

前略

先生方には、2005 年より開始された JPPP 試験にご参加、その追跡調査にご協力頂き、心より感謝申し上げます。本年 7 月には第 5 回目の追跡調査を予定しております。

さてこの度、厚生労働省の平成 21 年度研究事業へ、アスピリンによる消化管障害を調査する標記研究班の計画を申請致しましたところ、平成 21 年 12 月に受理されました。ご記憶のことかと思いますが、平成 20 年 10 月に米国 ACCF/ACG/AHA から、非ステロイド系消炎鎮痛剤の消化管障害に関する提言がなされたのを受けて、JPPP 試験においては、直ちにモニタリング委員会が開催され、試験継続の妥当性が決定されました。その際、同時に JPPP 試験における消化管障害・服薬状況の詳細調査の必要性の指摘もありました。これらを受け、JPPP 試験ステアリングコミッティ承認のもと、計画されたのが本調査研究です。分担研究者として新たに、国立国際医療センター内視鏡部長上村直実先生、獨協医科大学消化器内科教授平石秀幸先生にも参加して頂く事になりました。また、この調査研究を JPPP 試験とは別に開始するにあたり、当研究を『JPPPGI』と名付け、試験事務局（コールセンター）としてエリアワークス株式会社に依頼する事になりました。連絡先は、次の通りです。

JPPPGI 試験事務局（コールセンター）

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-4-1-402 エリアワークス(株)

Tel : 0800-8008158 Fax : 0800-8008235 E-mail:jpppgi@areaworks.jp

JPPPGI は、このような背景のもとに実施される厚生労働科学研究事業でございます。現在進行中の JPPP 試験同様、先生方のご協力を心よりお願い申し上げます。

なお、本調査の協力費として、厚生労働省の規定に従い、些少でございますが、図書券を贈呈致します。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

草々



平成 22 年 3 月 28 日

JPPP 試験参画施設  
担当医師 御机下

**JPPPGI 試験事務局**

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-4-1-402  
エリアワークス株式会社内

<ご案内>

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。下記書類をお送り致しますので、ご査収のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

**1. JPPPGI 試験 消化管有害事象調査票**

※ 2010 年 5 月末日までに、下記 JPPPGI 試験事務局宛、FAXでご回答ください

**お問い合わせ先 JPPPGI 試験事務局(コールセンター)**

**フリーアクセス FAX 0800-8008235**

**フリーアクセス電話 0800-8008158**

**※受付時間 月～金 (土日・祝日は除く) 9:00～17:00**

**2. JPPPGI 図書カード**

以上